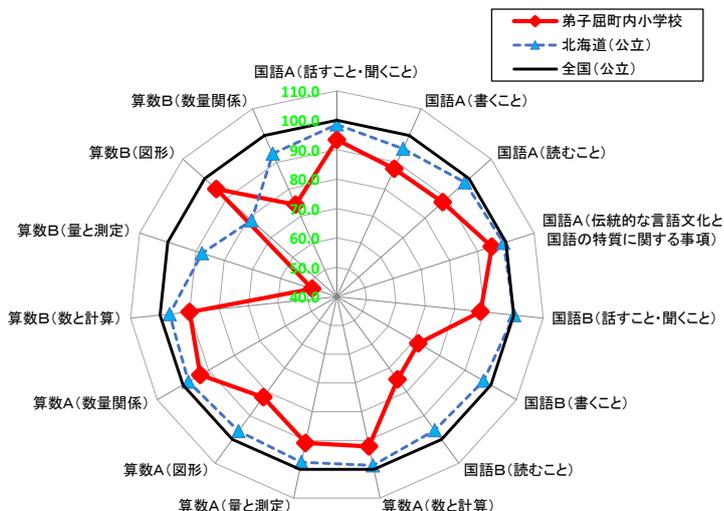


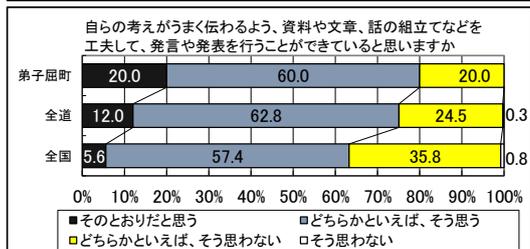
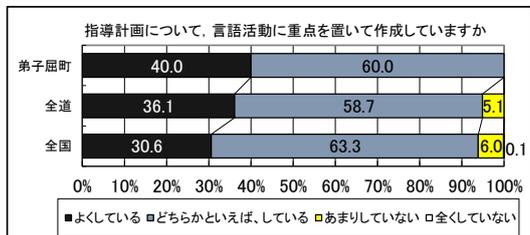
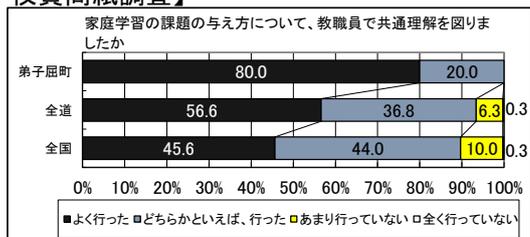
■ 弟子屈町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:48人)

【教科全体の状況】

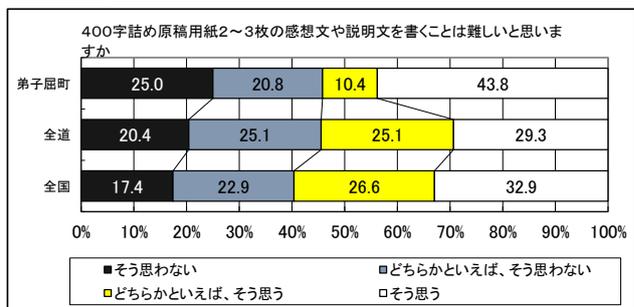
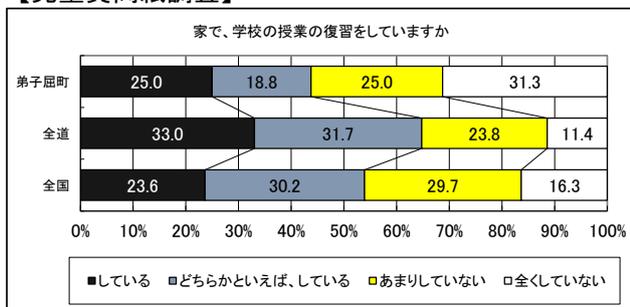
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Bでは、「図形」で全道を上回っている。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「400字詰め原稿用紙2〜3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「指導計画について、言語活動に重点を置いて作成している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思う」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図って取り組んだことにより、児童は家庭で学校の授業の復習をすることができたと考えられる。 ○ 学校が指導計画について、言語活動に重点を置いて作成するとともに、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うよう指導したことにより、400字詰め原稿用紙2〜3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない児童の割合が高くなったと考えられる。

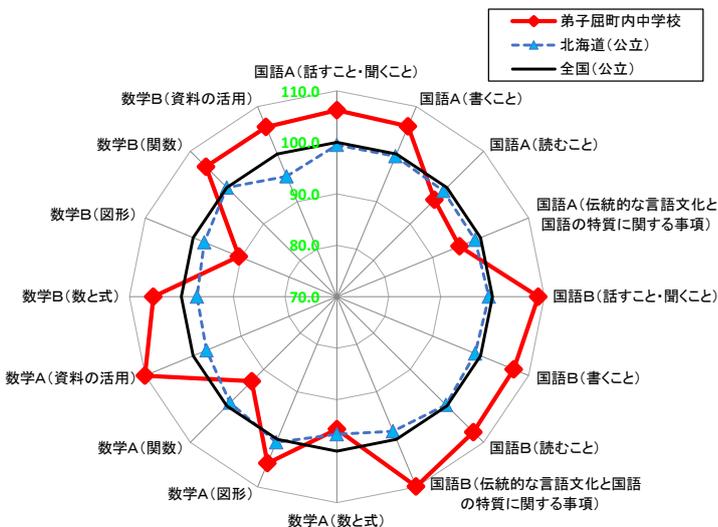
【弟子屈町の学力向上策】

- ◎ 「わかる、できる」を味わう授業づくり～明確な目標の提示と学習規律の徹底、繰り返し指導、「対話的な学び」の工夫等
- ◎ 意欲を高める学習環境の工夫～朝学習や朝読書の実施、放課後学習など補充指導の充実等
- ◎ 家庭学習の習慣が身につく指導の工夫～学年の段階に応じた家庭学習の内容・方法についての検討等
- ◎ 教職員の資質向上～積極的な公開授業及び公開研究会の開催等
- ◎ 家庭・地域に向けた啓発～町作成の冊子「子どもの成長を願って」の活用等

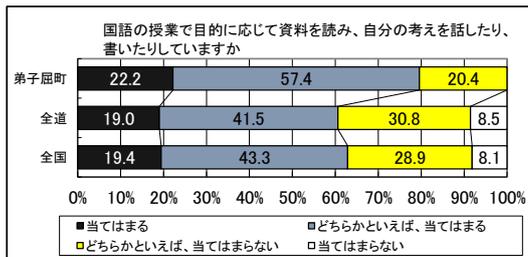
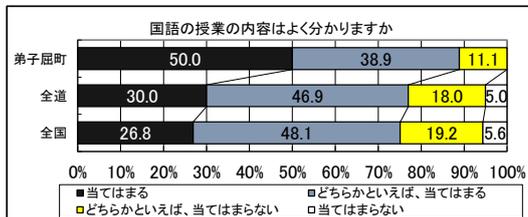
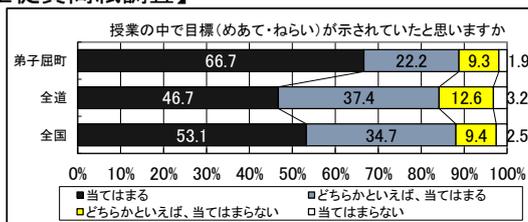
■ 弟子屈町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2校、生徒数: 54人)

【教科全体の状況】

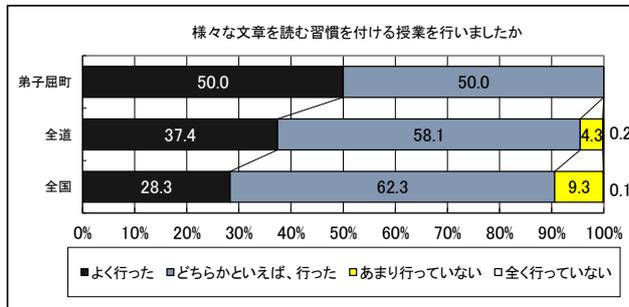
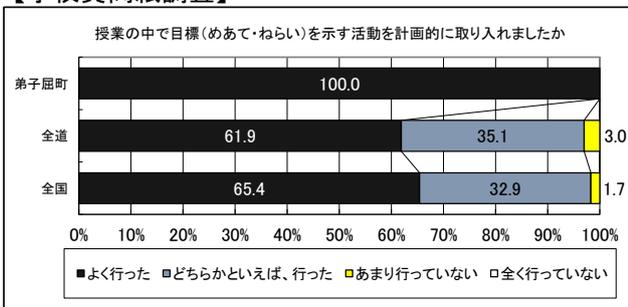
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」「資料の活用」、Bでは、「数と式」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れたことにより、生徒は見通しをもって学習することができ、基礎的・基本的な事項の定着が図られたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったことにより、国語の授業の内容はよく分かる、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりすることができる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道と比較して高くなり、国語Bでは、すべての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答している。 ○ 「様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【弟子屈町の学力向上策】

- ◎ 「わかる、できる」を味わう授業づくり～明確な目標の提示と学習規律の徹底、繰り返し指導、「対話的な学び」の工夫等
- ◎ 意欲を高める学習環境の工夫～朝学習や朝読書の実施、放課後学習など補充指導の充実、学習や進路に対する個別相談等
- ◎ 家庭学習の習慣が身につく指導の工夫～学年の段階に応じた家庭学習の内容・方法についての検討等
- ◎ 教職員の資質向上～積極的な公開授業及び公開研究会の開催等
- ◎ 家庭・地域に向けた啓発～町作成の冊子「子どもの成長を願って」の活用等